

みどりみらい 3rd Season ぐんじとしのりの議会報告

2014/01/31

Vol.50

西の原 2-3-6-104 TEL/FAX 45-8362

E-MAIL ID : toshigunji@hotmail.com

<http://www.mmirai.com> (HP) <http://togu.seesaa.net/> (ブログ)

平成 25 年 第 4 回 印西市議会定例会報告 (3)

いつもお世話になっております。千葉県内の特別養護老人ホーム（特養）の入居待機者が3年連続で1万8000人を超えたことが県の調べで判明したと1月10日（金曜日）の新聞紙上に掲載されました。今回の紙面では「印西市の高齢化対策」について記載したいと思います。

印西市の「待機老人」は187名！

1 印西市における高齢化対策について

来るべき本格的な「高齢社会」を前に自治体はどのような手を打っているのか？高齢者にとって地域のハードソフト両面の環境はどのような状況なのだろうかを探ろうと、「日本経済新聞社」は初めて「全国区の『高齢化対応度』調査」を行なったと聞く。その内容は「医療・介護」「生活支援・予防（健康づくり）」「高齢者の社会参加」という大きな項目に分かれているが、その他項目も加え、36項目にわたり調査し、印西市では702市中340位という結果だった。

(1) 印西市はこの結果を受けて、何が足りないと感じているのか。

【回答／健康福祉部長】高齢化対応度調査では、「医療・介護」、「生活支援・予防」、「社会参加」の主要3部門があり、その中では特に、社会参加についての点数が低く、社会参加についての現状把握ができていないと感じていますので、今後、印西市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画（27年度～平成29年度）の策定に向けたニーズ調査等や関係機関との連携を図り、できる限り現状把握に努めてまいりたいと考えています。

(ぐんじとしのりから再質問) 第6期介護保険事業計画策定のためのニーズ調査の現状は？

【回答／健康福祉部長】現在、第6期介護保険事業計画策定のために行っているニーズ調査の現状ですが、65歳以上の介護認定者以外の一般の方に3,987通、介護認定者のうち要介護2以下の方に1,477通、合計5,464通を11月下旬に発送いたしまして、12月10日の時点で2,378通回収できている状況です。なお、今後のスケジュールとしまして、現在回収している回答分を取りまとめて、委託業者による集計を平成26年2月中に終了させ、その後、国立社会保障・人口問題研究所にご協力をいただき、介護保険事業計画策定委員会に諮って行く予定です。

(2) 地域包括ケアシステムについて、医師会や事業者と定期協議をおこなっているのか。

【回答／健康福祉部長】現在、地域包括支援センターが相談しやすい関係を築くために、地域で活動する民生委員児童委員の方々と、地区民生委員、児童委員協議会定例会に出席し、関係作りと地域の現状把握に努めているところです。医師会や事業者との定期協議はまだ実施していない状況です。

(ぐんじとしのりから再質問) 今後、定期協議を行っていく予定はあるのか。

【回答／健康福祉部長】医師会との定期協議につきましては、今後重要な取り組みとなりますので、庁内で連携を図りながら進めて参りたいと思います。また、現在第6期介護保険事業計画策定のための、日常生活圏域ニーズ調査を実施していますので、その結果による新たな課題も踏まえ、医師会や事業者、民生委員、社会福祉協議会等地域の方々と連携し、地域包括ケアシステムについて検討して参りたいと考えています。

▼ 参考 印西市の高齢者施設 特別養護老人ホーム 4施設 360名 (待機老人 187名)
グループホーム 6施設 81名 / 介護老人保健施設 2施設 105名

将来的に待機老人の対応はどうかについては、今年度の施設整備の中で、草深地先に特別養護老人ホーム1施設、定員100人、吉高地先にグループホーム1施設、定員18人が、平成26年9月に開所する予定となっています。

また、将来的な、待機老人の対応は、印西市で大変重要な問題と認識しているようですが、先述の現在実施中のニーズ調査の分析等の結果を踏まえ、中長期的な視野で印西市の特性を捉え、第6期以降の介護保険事業計画等に反映させたいということです。

・・・高齢者が増えていくのは目に見えています。ニーズ調査の結果を私も見守っていきます。

(3) 平成25年度も当初予算で、『二次予防事業の対象者把握事業』を実施とあったが、現状はどうなっているのか。

【回答／健康福祉部長】「二次予防事業対象者把握事業」は、介護が必要となる可能性の高い虚弱な高齢者を把握するために実施しているものです。平成25年度の現状としましては、二次予防事業対象者に該当するかを判定するため、65歳以上の方で要介護要支援認定者を除く13,854人に基本チェックリストを送付しました。その結果、8,088人より回答があり、そのうちの1970人が二次予防事業対象者として把握したところです。二次予防事業対象者の方には、結果表に加え「介護予防事業のご案内」を同封し、介護予防事業への参加を促しています。介護予防事業としましては、「高齢者筋力向上トレーニング事業」「脳健康教室」「介護予防事業まるごと教室」を実施し、平成24年度の実績は、267人の参加があり、そのうちの145人が二次予防事業対象者でした。また、未回答者の対応としては、在宅介護支援センターの職員が通年で高齢者実態調査を行っているところですが、今年度は、未回答の方を中心に訪問しています。

高齢者実態調査に加え、未回答の理由を伺い、ご協力いただける方には、基本チェックリストの聞き取り調査を実施し、二次予防事業対象者の把握に努め、介護予防事業等必要なサービスの導入につながるよう働きかけているところです。

【参考】「平成25年度印西市市民満足度・重要度調査報告書」の中に、「高齢者福祉の充実」という項目があります。

* 「高齢者福祉の充実」 全体評価 満足度 満足 8.3%、やや満足 26.2%
やや不満 12.3%、不満 7.1% わからない 42.9% 無回答 3.3%
重要度 重要 61.5% やや重要 24.6%
どちらともいえない 8.8% あまり重要でない 0.9%
重要でない 0.6% 無回答 3.6%

相対評価 重要度は高いけれど、満足度は低い。

・・・ 重要度は高く、満足度が高い、印西市になるように尽力していきます。

印西地区環境整備事業組合議会が開催されます。

平成26年度の「印西地区環境整備事業組合 定例議会」が2月6日(木)に開催されます。今回の議会では、平成26年度の予算を中心に審議されます。(印西クリーンセンターの移転問題や印西斎場を含む平岡自然公園の運営審議を行います。) また、ぐんじとしのりも以下のテーマで既に質問を通告し、一般質問を行います。

1. 印西クリーンセンターの延命化と次期中間処理施設整備スケジュールについて
2. 小規模家電リサイクル法の対応について
3. 平岡自然公園の運営について

この紙面へのご意見に限らず、市政全般へのご提言、ご批判、皆様からのご相談はいつでも承ります。市政の最新情報を求める方は私のブログやツイッターをご覧ください。(随時更新しています) 市民参加のまちづくりを引き続き、皆様と行ってまいります。宜しく願います。

ぐんじとしのり